

校長室だより No17

2018年3月9日

柏市立酒井根東小学校

<http://www.sakainee-e.kashiwa.ed.jp/>

校長 梅津 健志

「学校評価、そして平成30年度へ」

昨日、平成29年度学校評価書をお届けいたしました。

本校が目標としているもの、それに向けた今年度の取り組み、保護者や子供のアンケート結果を踏まえての学校関係者評価、そして学校としての自己評価と次年度に向けた取り組み、この順番で記載しております。長文になり読みにくい点をご容赦ください。

先週末には、記名の上自由記述欄にご記載いただいた保護者の皆様には、個別に返事をお届けいたしました。自由記述に記載された中で、教員の言葉遣いや叱り方や注意の仕方についてつきましても、この場を借りて学校の取り組みをお伝えします。子供にとって注意や叱られる、怒られることはとても重要なことです。しかし感情に任せて怒るような行為は教育に携わるプロとしては厳に慎むべき行為です。子供を厳しく怒ったならば、その10倍の時間をかけて、なぜ怒られたのか納得がいくようにフォローをするよう話をしています。「絶対のこの子にこういう行為をさせたくはない」という愛情の上に怒ることが、子供の心と行動を変えていくことにつながることを、折に触れて職員に伝えていきます。やり抜く力を育むためには、愛情のある厳しさがとても大切です。疑問に思う指導がありましたら、担任に真意を確かめていただき、お互いに理解の上で子供への指導に当たっていきたいと思います。また、教頭や私にもどうぞ遠慮なく申し出ていただきたいと思います。

自由記述への返信に対して、さらにご意見やご感想がございましたら、学校代表メールアドレス sakainee-e@kashiwa.ed.jp までいただければ、お応えできる範囲でご回答をさせていただきますので、ご利用ください。

私は、評価は査定ではなく、より良い次の方法を見出すための手段だと考えております。いただいたご意見、4段階の数値で回答いただいたものを踏まえて、平成30年度の教育計画を作成しております。年度内には年間の計画をお渡しいたしますので、よろしくお願いいたします。学校評価といたしましては、12月に実施したアンケート以外にも、各行事終了後にアンケートも実施しております。今回のアンケートの自由記述欄とともに、ホームページの学校アンケートからダウンロードできるようにいたしましたので、ご覧いただけると幸いです。

「7回目の3月11日迎える」

子供たちは3.11の記憶をどう持っているのでしょうか？6年生の子は幼稚園児でした。思い出せる子もいるのでしょうか。私は当時柏第一小学校の教頭をしており、当日は500名の帰宅困難者を学校に宿泊させることとなり、その陣頭指揮をとっていました。地震発生から避難所閉鎖までの22時間の記録した動画を見返すと壮絶な時間を思い出します、あの日最後に引き渡した児童は23:45分。学童ルームには泊まった子もいました。

ついこの間と思いますが、子供たちにとっては「昔のこと」になっているでしょう。でも、同じ学年の子のことならば、自分に置き換えて考えることができます。もし地震で友達が亡くなったなら、親が行方不明になったら、子供の目線で当時の子の被災状況を知ることは、その年頃でなければ感じられないものを、感じられると思います。3月11日は、犠牲者の方々のご冥福をお祈りすると共に、千年に一度の大災害を語り継ぐ日にしていきたいと思います。

来年度の引き渡し訓練は、平日に実施し通常の状態で行い、完全引き渡しまで行い、いざという日に備えたシュミレーションする予定です。首都直下型地震に備えて参ります。